

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその実績

(単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業	79,190	77,459	97.81%
学術研究等助成事業	27,305	31,775	116.37%
資料館庭園運営管理事業	37,685	37,865	100.48%

(2) 直前3事業年度の財産および状況

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (当該事業年度)
経常収益	168,001	172,372	181,209	210,591
評価損益等調整前 当期経常増減額	13,331	18,887	17,767	37,141
当期経常増減額	3,507	1,284,522	125,748	2,337,581
正味財産期末残高	4,172,170	5,477,229	5,641,758	8,413,937

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
①育英奨学事業	学生に対し奨学金の無利子貸与 学生集会を開催し学生の指導育成と相互交流
②学術研究等助成事業	大学等における学術の研究者に対して助成金を給付 自然環境保護活動を実施する団体に対しての助成金給付 当会の事業目的に合致する公益事業活動をする団体への助成
③資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営および一般公開 庭園・山林・遊歩道の整備と自然環境保全活動

(4) 従たる事務所の状況

名称	所在地	事業内容
東京事務所	東京都 品川区大崎	首都圏の大学等への当会事業の周知 公益事業活動の助成対象団体の情報収集 金融情報収集

(5) 重要な契約に関する事項

契約年月日 (契約期間)	相手方	契約金額	契約の概要
令和6年4月1日 (5年間)	EY 税理士法人	1年間 1,320,000円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

(6) 事務局に関する事項

職名等	氏名	就職年月日	担当事務
事務局長	原 久晴	昭和 61. 4. 7	事務局総轄
事業部長	荒井 能弘	平成 22. 9. 1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	中沢 高則	令和 2. 11. 1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	山口 広美	平成 13. 2. 20	建物内管理・事務所庶務

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 7. 5. 29	令和6年度事業報告・計算書類等承認について	可決
〃	第14回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	令和7年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	令和7年度学術研究助成について	可決
〃	令和7年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	寄附(株式)の受け入れについて	可決
〃	評議員会への役員候補者の上程について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承
令和 8. 3. 18	令和7年度学術研究助成(その他助成)について	可決
〃	令和8年度事業計画の承認について	可決
〃	令和8年度予算の承認について	可決
〃	「奨学金規程」の一部変更について	可決
〃	「70周年記念事業積立資金規程」の制定について	可決
〃	選考委員選任について	可決
〃	寄附(株式)の申し入れについて	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7.6.20	令和6年度事業報告の内容報告について	了承
〃	令和7年度の決算の承認について	可決
〃	理事の選任について	可決
〃	監事の選任について	可決

(8) 株式の保有状況

企業名	保有株式数	保有割合	企業との関係
ENEOSホールディングス(株)	3,980,000株	0.14704%	取引なし
北越メタル(株)	55,600株	1.39209%	取引なし
住友商事(株)	35,000株	0.00293%	取引なし
(株)三菱UFJフィナンシャルグループ	10,000株	0.00008%	取引なし
武田薬品工業(株)	5,000株	0.00031%	取引なし

2 役員等に関する事項

(1) 理 事

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	備 考
理事長	山口敬太郎	2年	常 勤	規程による	令和7年6月20日就任
常務理事	原 久晴	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任
理 事	森地 茂	2年	非常勤	〃	令和7年6月20日就任
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任
〃	一色 誠一	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任
〃	大田 弘子	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任

(2) 監 事

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	備 考
監 事	西尾 進路	2年	非常勤	規程による	令和7年6月20日就任
〃	大田 勝幸	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任
〃	青柳 隆広	2年	〃	〃	令和7年6月20日就任

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	福壽 道夫	4年	非常勤	規程による	令和6年6月20日就任
〃	山崎 正	4年	〃	〃	令和6年6月20日就任
〃	高橋 譲	4年	〃	〃	令和6年6月20日就任
〃	田中 聡一郎	4年	〃	〃	令和5年5月22日就任
〃	山口謙太郎	4年	〃	〃	令和5年5月22日就任
〃	小澤 俊朗	4年	〃	〃	令和6年6月20日就任
〃	池田 勉	4年	〃	〃	令和6年6月20日就任

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	20,767千円	
監事	3	223	
評議員	7	356	
合計	16	21,346	

事業報告の附属明細書

1 育英奨学事業について

(1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計(名)	奨学金貸与額 (千円)	奨学金返還免除額 (千円)
大学院生	9	3	12	4,600	3,630
大学生	70	21	91	40,500	14,110
短大生	0	0	0	0	0
高専生	0	0	0	0	0
留学生	14	3	17	5,950	1,250
合 計	93	27	120	51,050	18,990

(2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者 (名)	返還額 (千円)
大学院生	34	4,633
大学生	172	41,176
短大生	4	545
高専生	1	90
高校生	1	60
留学生	30	5,252
合 計	242	51,756

(3) 学生集会

奨学生の研修指導育成を図るため 学生集会を8月27日～28日(1泊2日)に開催した。来賓による講演会と講話、元奨学生の体験談、自然環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業と、国・県の無形文化財である小国和紙の紙漉き体験とうちわ作りなどを行った。参加者は56名であった。なお、集会に参加した奨学生には1か月分の返還免除を行った。

実施内容

1 日目 27 日 (水)	13:00 集合 開会 理事長挨拶、役員紹介、学生自己紹介
	講演会 演題 「対日 FDI と若者の未来 －日本の成長を支えるトレンド」 若杉 敬明 氏 (一社 日本コーポレートガバナンス研究所 代表理事)
	講話 「企業の人事担当者から見た就職活動について」 長谷川 達哉 氏 (ENEOS 株式会社 人事部)
	元奨学生の体験談 「卒業後の進路は、大学生活以上に自由だという話」 中村 隼 さん
2 日目 28 日 (木)	山林保全作業 (植林地の下草刈り、間伐の体験)
	小国和紙の紙漉き体験、うちわ作り
	郷土資料館・庭園の見学
	16:30 閉会 JR 長岡駅へ移動、解散

(4) その他

機関誌「山びこ」58号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

2 学術研究等助成事業について

(1) 学術研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 14,260,000 円の助成金を交付した。

- ① 信州大学 繊維学部 准教授 矢澤 健二郎
研究題目 クモシルクの優れた振動伝播性を可能にする繊維構造の解明
- ② 信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 助教 田原 祐助 (R4 助成)
研究題目 マイクロ流路型マルチアレイ味覚センサの開発
- ③ 新潟大学 工学部 社会基盤工学プログラム 准教授 金澤 伸一
研究題目 新潟県内における集中豪雨に対する土構造物のリスク評価に関する研究

- ④ 新潟大学 自然科学系（工学部） 助教 余 俊
研究題目 環境変動に頑健な深層学習アーキテクチャの自動構築
- ⑤ 新潟大学 工学部 特任助教 西岡 颯太郎
研究題目 多核種 MRI に向けた高感度測定技術の開発
- ⑥ 秋田大学 情報データ科学部 講師 白井 光
研究題目 カーボンニュートラルに向けた UAV-SfM による森林モニタリングシステムの開発
- ⑦ 東北大学 大学院薬学研究科 薬理学分野 助教 五十嵐 敬幸
研究題目 ノルアドレナリンによる全身性ストレス応答の調節機構の解明
- ⑧ 東北大学 多元物質科学研究所 助教 柴田 暁貴
研究題目 有害フッ素化合物の可視光分解と回収除去ができる有機ナノ材料の開発
- ⑨ 東京大学 宇宙線研究所 助教 野崎 誠也
研究題目 次世代チェレンコフ望遠鏡を用いた TeV-PeV 銀河系内宇宙線観測
- ⑩ 東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 助教 佐久間 杏樹
研究題目 非晶質炭酸塩を經由して形成するドロマイトの沈殿条件の解明
- ⑪ 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 助教 辻 真人
研究題目 脳内 θ 振動が行動を調節する神経メカニズムの解明
- ⑫ 長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 助教 朴 敬勲
研究題目 ニューラルネットワークによる高減衰積層ゴム支承
(High Damping Rubber bearing, HDR) の非線形履歴特性を考慮した免震橋梁の動的応答解析と耐震性能評価
- ⑬ 長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 教授 島宗 洋介
研究題目 炭素系塗料/汎用半導体積層構造からなる光電変換デバイスの製造プロセス技術開発

- ⑭ 山形大学 医学部薬理学講座 講師 千葉 彩乃
研究題目 ゼブラフィッシュを用いた Midnolin 活性とドパミン神経の投射との関係の解析
- ⑮ 長岡技術科学大学 技学研究院 機械系 助教 上林 恵太
研究題目 NPR メタマテリアルの新たな数理設計手法開発により実現する非線形挙動および巨視的等方材料特性操作とスマート弾性包帯への適用
- ⑯ 長岡技術科学大学 物質生物系 助教 戸田 智之
研究題目 炭素 (sp^3) –リン結合の開裂に関する一般性の解明と物質科学における学理の確立
- ⑰ 富山大学 学術研究部工学系 准教授 伊野部 智由
研究題目 制御型二量体ブロックを用いた超構造バイオナノマシンの合理的設計
- ⑱ 新潟薬科大学 薬学部
研究題目 雪椿健康プロジェクト～新潟の県木であるユキツバキで県民の健康と地域の自然環境を守る～
- ⑲ 東京大学 史料編纂所古文書室 遠藤 基郎 (R6 助成)
研究題目 加賀藩編纂史料を中心とする能登半島地震被災地域の古文書の研究資源化 –古文書ユニオンカタログデータベースを用いて

(2) 自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、総額 5,744,600 円の助成金を交付した。

- ① もみじ園を育てる会
活動名 もみじ園周辺の整備
- ② チーム・おぐに
活動名 越後カントリートレイル コース保全活動
- ③ 柏崎動植物調査グループ
活動名 米山周辺の自然調査 (2 回目)

- ④ 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団
活動名 子ども達や高齢者などを対象とした身の周りの自然環境と科学に対する
「わくわく」「ドキドキ」「なぜなぜ？」体験

- ⑤ 下村振興協議会
活動名 下村集落から八石遊歩道（登山道）の補修：整備及び遊歩道周辺の山野草の
群生地保全活動

- ⑥ 新潟淡水生物研究会
活動名 柏崎・刈羽のため池調査と環境教育に向けた教材作成

- ⑦ 長岡クリーンクラブ
活動名 ゴミ拾いボランティア活動による自然環境保護活動
（ゴミ捨て注意看板等設置で活動のPRを行う）

- ⑧ 一般社団法人 ながおか自然エネルギー
活動名 自然エネルギーを子どもたちと市民の手に
～太陽熱を活用したソーラークッキングの環境教育、自然エネルギーの例会～

- ⑨ 火打池保存会
活動名 火打池保全活動

- ⑩ 新潟県立海洋高等学校 海洋生物研究部
活動名 上越地域におけるスナヤツメ類の分布調査

- ⑪ 津南・十日町錦鯉普及協会
活動名 錦鯉の野池飼育体験を通して未来の生産者・愛好家を育成する！

- ⑫ 特定非営利活動法人 新潟ワイルドライフリサーチ
活動名 ニホンミツバチを用いた里山植生の多様性調査

- ⑬ 長岡市立小国小学校
活動名 小国の自然とともに生きていく～わたしたちにとっての自然とは～

- ⑭ 一般社団法人 ECO village SHELTER project
活動名 昔ながらの里山の手入れによる古民家再生と持続可能な暮らしの文化の継承
- ⑮ 西山の自然を豊かにする会
活動名 西山の魅力ある自然保護とその発信
- (3) その他助成
学術研究等助成事業の「その他助成」として総額 9,830,600 円の助成金を交付した。
 - ① 公益社団法人 日本女子プロ将棋協会
 - ② 公益財団法人 日本ユースリーダー協会
 - ③ 公益財団法人 日本ナショナルトラスト
 - ④ 学校法人 国際大学 (IUJ)
 - ⑤ 地域間文化交流による人材育成プロジェクト実行委員会
 - ⑥ チーム・小国
 - ⑦ ながおか技術教育支援機構
 - ⑧ おぐに未来デザイン研究所
 - ⑨ 一般社団法人 新潟クラシック音楽協会
 - ⑩ 国立大学法人 長岡技術科学大学
 - ⑪ 長岡市立小国中学校
 - ⑫ 長岡市立小国小学校

(4) 学術研究助成報告会の開催

10月に「学術研究助成報告会」を開催し、令和5～6年度に助成金を交付した研究者のうち3名が、活動の成果について報告を行った。

3 資料館庭園運営管理事業について

(1) 当会の資料館および庭園・山林と遊歩道を4月下旬から11月下旬まで一般公開し見学者を受け入れた。ガイド3名を交替で配置し案内や解説を行い、見学者数は800名であった。

(2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら、植物、野鳥、きのこなどの観察会を春秋4回開催した。それぞれの専門家の協力を得て実施し合計97名の参加者があった。

(3) 地域の方に音楽を楽しんでもらう活動として、山びこ音楽会を長岡リリックホールで開催した。元奨学生2人（バイオリン、オカリナ）とピアニストが演奏し、約400名の来場者があった。

(4) 日本の伝統文化である将棋の普及と地域の人にイベントを提供する活動として、日本女子プロ将棋協会と日本将棋連盟長岡支部の協力を得て将棋大会を開催した。プロ棋士による指導対局と初心者教室および参加者のトーナメント戦を行った。

(5) 山口庭園の魅力発信のための写真コンテストを実施し、審査のうえ入賞者に対して表彰式を行った。

(6) 公益事業活動の広報の一環として、学生集会・観察会などイベント開催の折、地元テレビ局に取材依頼しテレビ配信した。

(7) 当財団設立の基礎を築いた山口権三郎の人物像を広く知ってもらうために、「山口権三郎と明治の産業」と題した冊子を発刊し、長岡市内の全ての小中学校と市立図書館、小国地域の家庭に配布した。